

L

【率いる】
Leading

社会の変化に応じて 売り場の改善を推進

ローソンは1975年に大阪府豊中市に1号店を開店。以後全国に店舗を増やし、現在国内の店舗数は14,721店(2019年8月末現在)。少子高齢化や女性の社会進出といった社会の変化に応じて商品やサービスを進化させ、店舗の形態も、健康志向の「ナチュラルローソン」、薬・介護・栄養の相談ができる「ケアローソン」など、地域のニーズに合わせて展開。「私たちは「みんなと暮らすマチ」を幸せにします。」という企業理念のもと、緊急時や災害時も頼れる「マチのインフラ」としての役割を果たし続けている。

竹増貞信社長はローソンの親会社である三菱商事で長く食肉事業に携わり、米国勤務や広報なども経験。ローソン入社以前は小林健社長(当時)の業務秘書を務めていた。

「ある日突然、小林社長から『ローソンに行きたい』と言われましてね。大変驚きましたが、三菱商事とローソンの連携強化を図り、ローソンの企業価値を一層高めることが自分の役割ではないかと考え、入社を決めました」

2014年に副社長として入社し、2016年に社長に就任。同年度から開始した「1000日全員実行プロジェクト」をけん引した。少子高齢化による人手不足やコンビニ業界の再編、テクノロジーの進化などに対応するためのプロジェクトだ。

「最新のIT(情報技術)の導入、多様化する人材に対応できる店舗オペレーションの開発、食品や日用品のラインアップの拡充などに注力しています。1000日と銘打ちましたが、1000日で終わるわけでは決してありません。キャッシュレス決済などテクノロジーの進化、人手不足、お客様のニーズの変化、どれもプロジェクト発足当時の予想を超えるスピードで進んでいます。フランチャイズ加盟店のオーナーの皆さんはあらゆる変化に対応しなければなりません。店舗経営の相談窓口を設置するなど、日々改善を図っています」

一人ひとりが輝く職場環境へ

社会課題の解決にも力を入れる。この夏は、消費期限の近い対象商品を買って食品ロスの削減と貧困家庭の子ども支援につながる取り組み「アナザーチョイス」を愛媛県と沖縄県の店舗で実施した。

同社は新感覚のスイーツなど、商品企画力に定評がある。竹増社長も企画に参加し積極的にアイデアを出す。「商品だけでなく、例えば、淹れたてコーヒーのスリーブに本の抜粋を印刷し、『〜賞受賞作品』といった宣伝文や、本を注文できるサイトのQRコードもつけて、デジタルとアナログを融合したサービスが提供できないか、などと既存の枠にとらわれないサービスの可能性を探っています」

竹増社長のモットーは、現場の声に耳を傾けること。「1万人超の社員、そして各店で働く皆さんが存分に能力を発揮し、自分は輝いていると実感できるような職場環境を作ることが私の務め。これまで築き上げた土台に改善を積み重ね、全員一丸で企業理念の実現を目指します」

■朝日新聞社メディアビジネス局ウェブサイトでは、竹増貞信さんが語るリーダー論を紹介しています。
https://adv.asahi.com/ 朝日新聞 広告



ローソン 代表取締役社長 竹増貞信さん
1969年大阪府生まれ。1993年大阪大学経済学部卒。同年三菱商事入社。2014年ローソン副社長に就任。16年6月から現職。

竹増貞信さんのおすすめ本棚

『流転の海』全9部 (新潮文庫) 宮本輝・著
大阪の焼津開市から実業家として再起をはかる松坂熊吾。豪胆にして理不尽な男が、50歳にして初めて子孫を授かる。作者自身の「父と子」を描くライフワーク。

『人を活かす経営』 (PHPビジネス新書) 松下幸之助・著
著者はいかに社員を指導し伸ばしてきたか。仕事をまかす。部下の提案を活かすなど、「人」の持ち味を引き出し、仕事を成功に導くためのヒントが満載。

『蒼穹の昴』全4巻 (講談社文庫) 浅田次郎・著
西太后が治める中国清朝末期、極貧の少年・春児は、科擧の試験を受ける幼なじみ文秀とともに都へ上る。志を胸に歩み始めた二人を待ち受ける宿命の邂逅。

『アナログの逆襲』 『ポストデジタル経済』、ビジネスや発想はこう変わる (インターシフト) デイビッド・サククス・著 加藤万里子・訳
なぜいまアナログモノや発想が、世界中で再び注目され、ヒットしているのか? アナログの隠れた力を明かし、大転換の深層を読み解く話題作。

『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』 (東洋経済新報社) 新井紀子・著
AI化が進んだ未来の行き先は、教育の劣化を伴った最悪の悪夢。それを守るためにはどうしたらいいのか? 東ロボ開発者で教育の専門家でもある著者が提言。

私自身も第1子を授かった頃だったのが、熊吾の堂々たる父親ぶりに感心しました。熊吾は欠点の多い人物ですが、決して人をだまさない、裏切られても恨みを引かず、信頼してきた者に全人格をかけて向き合います。おまけに何があっても、たいしたことはありやせん、と動じない。確かにそういう気構えでいた方が、何事にも鷹揚に生かされる気がします。心に刺さったのは、「自尊心よりも大切なものを持つて生きなよ、あいけん」という熊吾の言葉。自尊心よりも大切なものは何か、自らに問う機会にもなりませんでした。最終巻は、熊吾は生涯かけてかけがえのない家族と仲間を作り上げたのだとしみみ思える結末でした。

松下幸之助さんの「人を活かす経営」と出合ったのも30歳前後。それまでビジネス書に興味なかったのですが、部下ができてチームを率いる難しさに悩み、手に取りました。部下の仕事ぶりに歯がゆさを感じ、その苛立ちが態度にも出てしまっていたんです。そんな私の目を覚ましてくれたのがこの本でした。「人はダイヤモンドの原石のようなもので、磨き方いかん、カットの仕方によらず、さまざま異なる輝きを放つ。人それぞれの素質が生かせるような配慮が必要である。こうした至言に触れ、反省しました。それから部下の長所を見るように努めます」と

気持が楽になって、前向きに仕事ができるようになりました。好きな小説をもう1作品『蒼穹の昴』です。中国の最下層の家に生まれ馬鹿扱いの家計を助けていた主人公・春児は、家族のために、自ら道を切り開くために、宦官になる道を選びます。まさに自尊心を超えた決断です。春児の兄貴分である家柄のいい秀才・文秀も、官僚として国の未来を切り開いていく。生まれも役職も正対の二人ですが、どちらも私心のない行いで人から愛され、愛される故にしばしば窮地を救われます。そうした生き方に憧れる中で、若い頃に上司から送った「フォー・サ・カンパニー」だと言われたことを思い出しました。会社のために行動すれば、私心のない判断ができるという教えだったのだと思います。「アナログの逆襲」は、デジタルネイティブ世代の間でレコードや紙のノートなどのアナログ製品が支持されている現象に注目しています。私たちが世代にとってはパソコンやスマホが目新しい刺激でしたが、デジタルネイティブ世代にとってはアナログなモノに目新しさがあり、想像力が刺激されるようです。それもおすすめです。

読書は自分と異なる視点を与えてくれます。そして心の旅をさせてくれます。読むことで何がすぐに解決するわけはありませんが、仕事や私生活の節目にふと、本にあった言葉に背中を押されることがある。特に若い時の読書体験は貴重だと実感しているので、子どもたちにもすすめています。

R

【読む】
Reading

異なる視点を得て、心の旅を楽しむ

経営の神様の至言に触れ 部下への接し方を反省

子どもの頃から本が好きでした。初めは漫画や図鑑が目当てで近所の書店に通い始めたのですが、「赤本(過去入試問題集)の棚を眺めて、大学はたくさんあるんだなあと思ったりするのも楽しくて、幼い自分にはまだ読めない本も、背表紙を

見るだけで違う世界に行けるようなワクワク感がありました。影響を受けた本はいろいろありますが、小説の筆頭は『流転の海』。第一部の刊行から36年を経て、昨年完結しました。主人公の松坂熊吾は、戦前は飯屋実業家として鳴らし、戦後、大阪で再起を図ります。そして50歳にして初めて息子を授かり、妻子とともに波乱の後半生を生き抜く。最初に第一部を読んだのは30代前半、

読んでなかなかホッとしました。デジタルネイティブ世代がアナログの強みを取り込むことで、私たちの世代が思いもよらないデジタルとアナログの融合物が創造されるかもという期待も持ちました。

好きな小説をもう1作品『蒼穹の昴』です。中国の最下層の家に生まれ馬鹿扱いの家計を助けていた主人公・春児は、家族のために、自ら道を切り開くために、宦官になる道を選びます。まさに自尊心を超えた決断です。春児の兄貴分である家柄のいい秀才・文秀も、官僚として国の未来を切り開いていく。生まれも役職も正対の二人ですが、どちらも私心のない行いで人から愛され、愛される故にしばしば窮地を救われます。そうした生き方に憧れる中で、若い頃に上司から送った「フォー・サ・カンパニー」だと言われたことを思い出しました。会社のために行動すれば、私心のない判断ができるという教えだったのだと思います。

親会社の三菱商事出身で、ローソンを率いて4年目を迎えた竹増貞信さん。幼い頃から本が好きで、お子さんには自ら読み聞かせをしていたそう。「息子たちも読書好きになってくれればと。小学生の下の子は兄もそうであったように、書店に行くとき一目散にお気に入りの棚に走ります」

気持が楽になって、前向きに仕事ができるようになりました。

好きな小説をもう1作品『蒼穹の昴』です。中国の最下層の家に生まれ馬鹿扱いの家計を助けていた主人公・春児は、家族のために、自ら道を切り開くために、宦官になる道を選びます。まさに自尊心を超えた決断です。春児の兄貴分である家柄のいい秀才・文秀も、官僚として国の未来を切り開いていく。生まれも役職も正対の二人ですが、どちらも私心のない行いで人から愛され、愛される故にしばしば窮地を救われます。そうした生き方に憧れる中で、若い頃に上司から送った「フォー・サ・カンパニー」だと言われたことを思い出しました。会社のために行動すれば、私心のない判断ができるという教えだったのだと思います。

テレビ番組で大反響!

テレビ朝日系 特別番組
「おもしろうて、やがて不思議の、樹木希林」(9/10放送)
フジテレビ系「バイキング」(9/12放送)

【芥川賞作家】
又吉直樹さん 推薦!
「色々、怖くなくなった。この世界のおもしろがり方を教えてくれる言葉」

YOUさん 推薦!
「聴き足りないけど自分で考えるよ。面白がって生きてみるからね」

久米宏さん 推薦!
「悠木千帆から樹木希林へそして伝説に一読安堵して明日を迎えて下さい」

養老孟司さん 推薦!
「大人の人生訓です。心して読んで、笑って、元気に生きてください」

60万部突破!

2019上半期
ベストセラー

樹木希林 120の遺言

死ぬときぐらい好きにさせてよ

読者552人が選んだ
希林さんの言葉
ベスト5

- 第1位 幸せというのは「常にあるもの」ではなく「自分で見つけるもの」
- 第2位 失敗したらね、そこからスタートなの。あんまり深く考えない
- 第3位 どうぞ、物事を面白く受け取って愉快に生きて。あんまり頭張らないで、でもへたれないで
- 第4位 世の中をダメにするのは老人の跋扈。時が来たら、誇りを持って臨むための
- 第5位 いまなら自信を持って、こう言えます。今日までの人生、上出来、ございました。これ以上、おれとまいたします

宝島社 宝島チャンネルで。お求めは書店、ローソン、ファミリーマート、セイコーマート、公式直販サイト・宝島チャンネルで。
※一部取り扱いのない店舗もありです。〒102-8388 東京都千代田区一番町25番地 03-3234-4621(営業) 宝島社